

平成29年度指導者研修会報告レポート

- 期日 平成30年2月17、18日（土、日）
- 会場 「邦和セミナープラザ」名古屋市

報告者氏名 佐藤 和之（高体連）

【日本連盟出席者】 野際専務理事、石川生涯スポーツ委員会委員長、丹崎総務委員長、北本強化委員長、篠邊指導委員長、山下広報委員長、佐藤理事、井上理事、足立高体連副部長、菊本高体連副部長、林中体連専門部長、金岡小学生部会長、安達指導委員、小野寺指導委員、高井指導委員、百町指導委員、落合生涯スポーツ委員、山本監事、萬監事

【あいさつ内容】 石川生涯スポーツ委員会委員長より日本連盟関係者の紹介

【研修会内容】

（全体会Ⅰ） 専務理事より会員報の30年度事業計画の主要な部分の説明があり、続いて佐藤理事より運動部活動のあり方に関する総合的なガイドラインについてのお話があった。その後昨年度に引き続きNTT西日本のインターネット指導プログラムJASPの紹介があり、新たに加わった機能等の紹介があった。

（全体会Ⅱ） 北本強化委員長によるシングルの強化について1時間ほど国際大会でのシングルの試合を見ながらの講義、その後体育館に移動してシングルの踏まえた実技講習が行われた。次の準備を踏まえ動きながら打つことを意識した練習を中心にスポンジボールを用いバドミントンコートでのシングルのしたり例年とは違う展開であった。「体幹で打つ」事の大切さを教えていただいた。

（グループ活動） 2日目は小中高合同のグループを15班（1班あたり9名程度）作り、「小中高指導者の連携について」というテーマでディスカッションを行った。今後は小学校と高校の指導者の連携が今まで以上に必要であると感じた。

【感想】

会場が大阪府から愛知県に変更になったこと、実技講習が実施されたことが今までと大きく変わった部分であった。実技についてはスポンジボールを用いると狭いスペースでも練習場所が確保できるので冬期間の練習や雨天時の練習等取り入れていきたいと思った。実技講習が今後も展開されるのであれば高体連としては参加者を毎年別な先生にお願いすることも視野に入れていきたいと感じた。個人的には非常に有意義な研修であった。